学校生活において配慮すべきこと 一宮市立富士小学校 ★の部分は変更点

2021.3.8 改訂 2021.4.1 3配布

登校前

- 口健康チェック(家庭で Google フォームの「健康チェック」を送信)の徹底
- □集合場所・通学団(マスクを着用する、大人数で密集しない、近距離で会話・発声を控える、1列で並ぶ)
- □同居家族が濃厚接触者と特定された場合や、風邪症状等により、PCR 検査等を受ける場合、登校を慎重に検討する。★

	ロエけんで手洪い			
₽₹ ₩	口石けんで手洗い			
①登校後	口手の消毒 口自席につく(席配置の工夫)		ž	マスクの着用
	口窓を開ける		マスク着用	. │ →原則、常時着用
	□健康観察 □健康チェックカード回収(一部)	ドア	有用用	
	口検温を忘れた子の検温	•	,,,,	
②朝読書	<全校で実施>□教員が確認しながら石けんで手洗い	窓を終始開放		┃3密を避ける┃
朝の会	(水流し放し・学級毎などローテーション計画)	終	距距	
	□加湿雑巾の確認	始目	離	① 密閉空間を開放し、
		放	近距離で会話を	換気を行う。
0	口体育の授業は、可能な限り屋外で実施し、原則マスク		話	②手の届く距離に多
③1限	着用(種目によって外す)	불	を	くの人がいないよう
	・特定の少人数(2~3人程度)での活動を実施する際は十分な距離を空ける。★	꼭	な	にする。
	は十万な距離を呈ける。▼ □各教科で共用の用具や物品を使用した場合は、石けん	ラー	61	③近距離での会話や 発声を控える。
	で手洗い	コン使用時は 		大円で控える。
	口次のような学習活動は、感染予防対策を徹底したうえ		集まら	
	で再開する。★	はゅ	はら	体調不良者の対応
2限	・長時間、近距離で対面形式となるグループワーク	換気	ひ	・健康観察に努める。体調
	及び近距離で一斉に大きな声で話す活動		61	不良に気づいた場合には、
	・近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等	│ □ │	무	すみやかに養護教諭等と
	の管楽器演奏	課	石け	<u>連携し、迅速な対応をと</u> る。
	・近距離で活動する調理実習 ・近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動	窓		▲ <u>3。</u> ・体調不良者との接触機
④ 中間	ロマスク着用(息苦しい時は外す)口石けんで手洗い	放課に窓全開	んで手洗 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<u>会を減らす</u>
放課	日マスショ用 (ぶらしい時は外9) 日日リルビチ流い 日近距離で会話・発声を控える 日手の消毒		洗	
	口担距離で云品・光戸で伝える ロチの治母	扇面	U)	□職員が保健室へ引率 □基本的に保健室で対応
34限		風機利用で換		口体調不良者とけが人を
⑤給食	<全校で実施>	첻		エリア分けする
	□ 対員が確認しながら石けんで手洗い	<u> </u>	目鼻口をさ	(パーテーション、別室など)
	(水流し放し・学級毎などローテーション計画)	換 気		□職員室との連絡手段の 確保(携帯・PHS)
	口手の消毒 口全員前向き 口配膳台・トレー消毒		わら	ロベッドは極力使用しな
	□給食当番の健康チェック(担任) □会話を控える □アレルギーのチェック		わらない	して、アドロビジスのは、
	日去品を在える ロアレルギーのチェック		61	口発熱、体調不良者は帰宅
⑥掃除	口換気 ロマスク着用 口掃除後に石けんで手洗い			│ させる │ □緊急対応はできる限り
昼放課	ロマスク着用(息苦しい時は外す) 口近距離で会話・発声を控える 口石けんで手洗い 口手の消毒			教頭が行う
⑦56限	□午後の健康観察			<その他>
下坎	ロマスク着用(息苦しい時は外す) ロ大人数で密集しない			□職員健康チェック
下校	口近距離での会話・発声を控える 口1列で並ぶ			□基礎疾患のある子・教員 ・ の把握・対応の確認
8下校後	口必要に応じて保健室や主に子どもが触れる場所の消毒			□来校者は氏名または社
	□帰宅後すぐに石けんで手洗い □健康確認			名・連絡先を記入
9家庭で	□不要な外出は避ける(特に21時以降)★ □規則正しい生活をする			